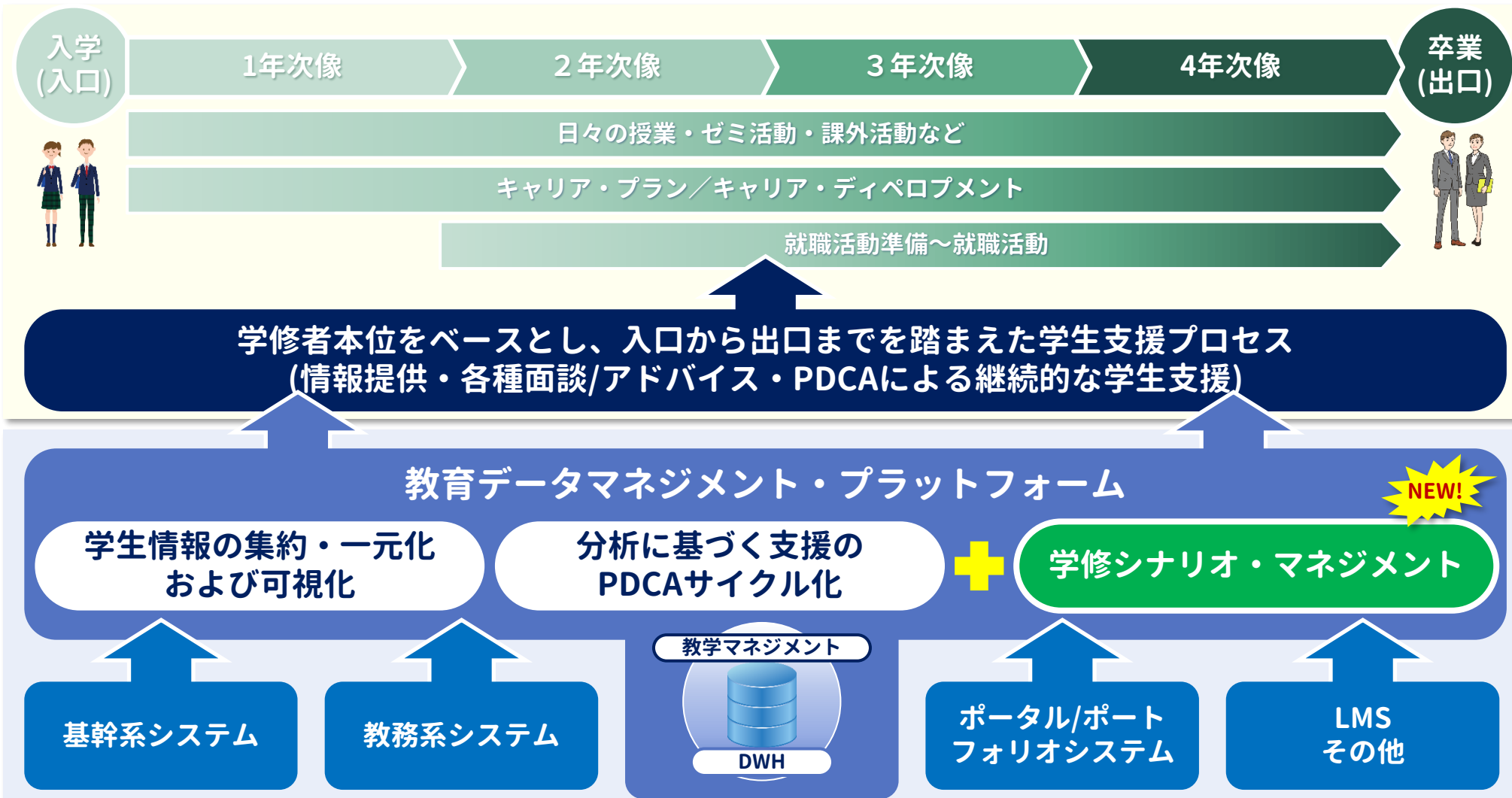


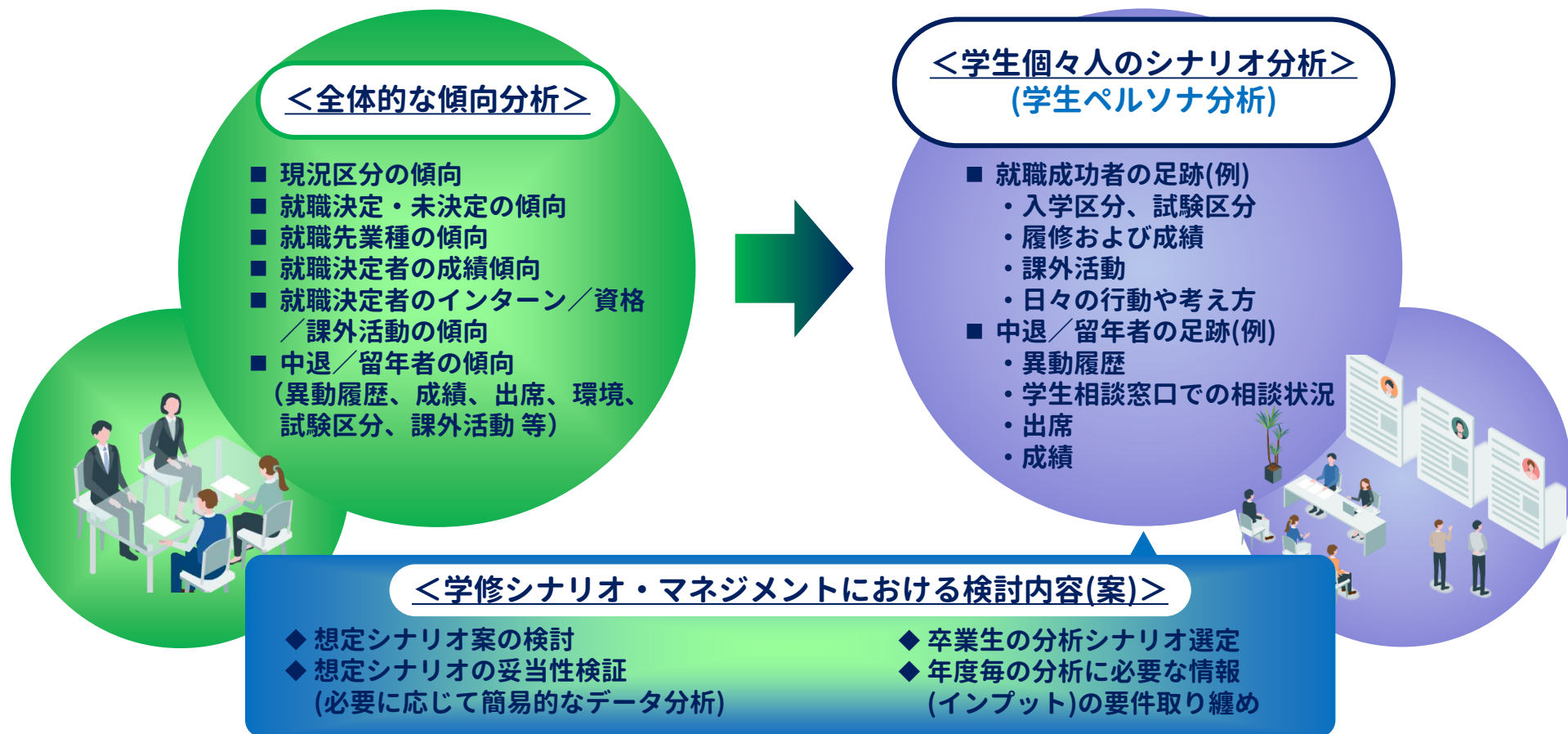
「学修者本位」の教育を実現するプラットフォーム

- ✓ 一般的な教学IRマネジメントから、さらに一步踏み込み、個々の学生のなりたい姿の実現を目指す。



「学修シナリオ・マネジメント」とは（出口情報を起点とした実践事例）

- ✓ これまでの教学IRにおいては、全体的な傾向の把握等が主だった目的であったが、**学修者本位の観点**にて、個々の学生のなりたい姿に対する**シナリオ分析**を主な目的とする。
- ✓ 例えば、ある会社に就職した先輩はどの様な学生生活を送ったか等をシナリオ化し、それらと照らし合わせる事で、**個々の学生に向き合った深い支援**が可能になる。



進め方(フェーズ・アプローチ)に関して

- ✓ 全ての項目を一度に網羅する事は、現実的には難しいものと認識します。弊社では、現実的な範囲・可能な範囲から着手するフェーズド・アプローチにて、段階的に成果を出しつつ、最終的な目標に向け、確実に推進します。
- ✓ また、大学様の状況(教学IRの進行状況、各種情報の分散度合、LMS等のシステム導入状況等)を踏まえて、それぞれの大学様にとって最適な進め方をご提案します。

第1フェーズ

パイロットフェーズ (約6ヵ月)

- 貴学保有するデータ状況調査
- パイロット・システムによるトライアル分析
- 実現性検証(フィージビリティ・スタディ)
- ロードマップの策定

- ✓ 貴学における情報の一元化状況
- ✓ 貴学における傾向分析結果
- ✓ 教育データマネジメント・プラットフォーム
(プロトタイプ版)
- ✓ 学修者本位の実現に向けたロードマップ

第2フェーズ

段階的導入フェーズ (約6ヵ月～約1年)

- 一部機能の正式導入ならびに一部業務の正式開始
- 経年変化データの取り込み
- データレイクの蓄積開始
- データクレンジング・パフォーマンスチューニング等の各種調整

- ✓ 教育データマネジメント・プラットフォーム
(初期版)
- ✓ データレイクおよびDWH(初期版)
- ✓ 教学マネジメントおよび学修シナリオ・マネジメントの実績

第3フェーズ

拡大フェーズ (約1年～約3年)

- データ連携先の拡大
- 機能範囲および業務範囲の拡大
- 経年変化データの取り込み
- データレイクの継続的蓄積
- PDCAサイクル定常化

- ✓ 貴学における情報一元化範囲の拡大
- ✓ 教育データマネジメント・プラットフォーム
(機能拡張・データ範囲拡大版)
- ✓ 経年変化を取り込んだ教学マネジメントおよび学修シナリオ・マネジメントの実績